

宮永岳彦記念美術館 新展示企画 「衣装でみる宮永岳彦 ～伝統と流行～」

実家とアトリエがあった秦野市にゆかりを持ち、美人画のほか、「ぺんてるくれよん」のパッケージや初代ロマンスカーの内外装デザインを手掛けたことでも知られる画家、宮永岳彦。油彩画や風景画、商業ポスターなど多様なジャンルの作品の中から、宮永が描いた「衣装」に光を当て、彩り豊かな作品に込められた装いの美学を紐解きます。

1 期間

12月7日（土）～令和7年6月1日（日） 午前10時～午後7時 ※
入館は6時半まで

※休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、12月28日（土）～1月2日（木）

2 場所

宮永岳彦記念美術館（鶴巻北3-1-2）

3 内容

油彩画を中心に、童画や挿絵、ポスターなど、様々な分野の作品約50点を展示し、多岐にわたる衣装を描く技術と装いに対するこだわりを迫る。



《ROKUMEIKAN 風》



《甲府商工信用金庫 1969 年
カレンダー》



《松坂屋全店歳暮大売出しポスター》

問い合わせ

文化振興課文化振興担当 電話 0463（86）6309